

自己評価結果表

【共通版】(保育所用)

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> (保育所) 理念や基本方針を保護者会等で資料とともに説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】 (法人及び保育所として回答しています) ・事業計画及び保育所の保育課程で明文化し、ホームページの「保育園の紹介」欄で公開している。 ・毎月の職員会議において理念・倫理要綱を唱和し職員への周知を図っている。 ・入園式において入園のしおりに添付している保育課程にて保護者への説明を図っている。		

2 経営状況の把握

	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・利用者(子ども保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に保育のコスト分析や保育利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 (法人として回答しています) ・鹿児島県及び南さつま市等の説明会・研修会において、社会福祉事業の動向を把握している。 ・南さつま市発行の「人口統計」、「子ども・子育て支援事業計画」及び「子ども・子育て会議」の資料で動向や地域の子どもの数等を把握し、当地域における経営環境を予測した対応を心掛けている。		

3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監査等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【判断した理由・特記事項等】 (法人として回答しています) ・理事会で経営に係る諸課題・取組みを提起することにより、役員(職員である施設長を含む)間で共有ができ、解決・改善つながっている。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 (法人及び保育所として回答しています) ・事業計画にて福祉会及び保育園とも一部策定している。		
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行動計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【判断した理由・特記事項等】 (法人及び保育所として回答しています) ・事業計画にて福祉会及び保育園とも一部策定している。		

(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 (保育所として回答しています。) ・事業計画(園行事等)は前年度の実績や反省を踏まえ、施設長と主任保育士が協働して作成して職員に配布し周知を図っている。 ・事業(園行事等)は計画された日時や内容どおりに進め、職員会議での反省を踏まえて改善するなどして見直しを図っている。		
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 (保育所として回答しています。) ・入園式において、「入園のしおり」に添付して保護者へ説明を行ったり、事前に掲示板やホームページにて掲載して周知を図っている。 ・行事前に開催する保護者会で説明を行ったり、保護者の会に役割分担をお願いするなどして参加を促している。		

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果
8	① 保育の質の向上にむけた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	
【判断した理由・特記事項等】 (保育所として回答しています。) ・各期に各クラス毎に「ふり返り」を実施して質向上に努めている。 ・保護者評価、職員評価を2～3年ごとに行い、見直しによる質向上に努めている。		
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】 (保育所として回答しています。) ・評価の結果を基に、職員会議や園内研修にて共有と共通化を図っている。各期に各クラス毎に「ふり返り」を実施して質向上に努めている。 ・保護者評価、職員評価を2～3年ごとに行い、見直しによる質向上に努めている。		

II 組織の運営管理
1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの福祉施設・事業所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	
【判断した理由・特記事項等】 ・役割・職務分掌は現運営規程に一部定められているが、詳細に乏しため、今後の理事会で改正(案)を諮り明文化の予定。 ・全ての項目に該当しない。		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】 ・職員への周知。周知への取組みが行われていない。		

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
・研修会への参加及び資格取得を積極的に推進し、質向上に努めている。		
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
【判断した理由・特記事項等】		
・労務・財務等の管理を踏まえ、基準以上の人員配置や自主研修の時間を与えるなどして、負担軽減や働きやすい職場環境づくりを行っている。		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・人材確保の計画は策定していないが、有資格者の採用が難しいことを踏まえ、無資格者を採用して資格取得を支援し、人材の確保に努めている。 ・将来的には、無資格者を採用しの上、短大等に入学させて資格取得をしてから園勤務ができるよう目指している。		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
	<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。	
【判断した理由・特記事項等】 ・各自が申告する勤務評価を踏まえ、三者面談(職員・施設長・主任保育士)を行った後に勤務成績を評価し、次年度の昇給に反映させている。 ・処遇については、地域の賃金水準を把握しつつ、昇給のほかに処遇改善加算Ⅰ及びⅡを能力などに応じて加算し、処遇改善の向上に努めている。		

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や以降の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇の取得状況は処理簿提出時に確認、時間外労働は超過勤務命令簿で確認のうえ協定時間を超えていないかチェックし、就業状況を把握している。 ・休暇希望日を設けることにより適時に休暇の取得ができたり、病気などの緊急時においては無理に出勤することなく代替を確保して休暇を取得させて働きやすい環境づくり・定着に努めている。 		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価に個々の目標を設定し各期ごとに反省・評価を行いながら、年度末の目標達成度を採点したのち上司が評価を行っている。 		

18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】 ・年度当初までに研修計画を策定して、定期的に研修内容の見直しを行っている。		
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・各々の日常業務を注視して知識・技術水準を把握している。 ・外部研修は、適任者に情報を提供し、参加を呼びかけている。 ・職種・職務に応じた研修が公平に参加できるように配慮している。		

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れは積極的に行っているが、専属の職員は配置していない。 ・本人の意思を尊重を図るため、本人が提出する研修内容に沿って実施しているのでマニュアル等は整備していない。 ・前述の理由により全ての項目に該当しない。 		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、提供する保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	
	<input type="checkbox"/> 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・理念、基本方針・提供する保育内容・事業報告・計算書類等はホームページで公開している。 ・相談・苦情処理については、体制を整え、結果をホームページで公開している。 		

22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的を確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・ルールや権限・責任・分掌は、経理規程及び辞令等で明確化され、関係職員は周知している。 ・毎月の会計処理チェック・決算処理等を久保会計事務所に委託しており、相談や指導・指摘により当該事項の改善を行っている。 ・内部監査は、年1回、10月に理事1名、主任保育士1名の計2名で実施している。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・保育課程で明文化している。 ・関係機関等から提供される情報を掲示板にて提供し、その利用を進めている。 ・地域行事等へは、子どもの個別状況に応じた数の職員が同行し支援を行っている。 ・年5回の公民館ふれあい活動や各種行事等で、地域の子どもや人々と交流を図っている。		

24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 <input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。 <input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 <input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	c
【判断した理由・特記事項等】 ・ボランティアの希望や受入実績がほとんどなく、そのため体制を確立していないため、全ての項目に該当しない。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。 <input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。 <input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。 <input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケアを含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> (保育所) 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。	b
【判断した理由・特記事項等】 ・関係機関等が提供する情報(子育て、教育支援等)は、職員会議等を通じて共有している。 ・会議・連絡会へは、その都度参加し情報交換を行っている。 ・要対協への参画は専任された委員しか参加できないが、虐待等が疑われるときは、即、関係機関へ通報する体制は整えている。		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	c
	<input type="checkbox"/> 保育所のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	
【判断した理由・特記事項等】		
・保護者への研修会は行っているが、地域への取り組みは行っていないため、全ての項目に該当しない。		
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
【判断した理由・特記事項等】		
・公益的な事業・活動へは取り組んでいないため、全ての項目に該当しない。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施
1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果
28	① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> (保育所) 子どもがお互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> (保育所) 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> (保育所) 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・倫理綱領や規程等が未整備。		
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	
【判断した理由・特記事項等】 ・プライバシー保護は、就業規則・個人情報管理規程に定め、職員への周知を図っている。		

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所においている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
・「入園のしおり」をわかりやすい内容にして利用希望者や園見学者に説明を行なっている。		
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の動向に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	
【判断した理由・特記事項等】		
・自然災害や緊急時を除き、利用の開始・終了時間の変更はない。 ・自然災害や緊急時に時間変更する際は、文書や一斉メールにて理由を説明している。		
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 保育所等の変更にあたり、保育の継続に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	
【判断した理由・特記事項等】		
・退所時において、当該園から情報を求められたときは支障のない限り提供するようにしている。 ・退所後の相談は、ほとんどないのが現状である。		

(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己評価結果
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3年毎の保護者評価にて満足度を調査している。 ・随時個別面談を行ったり、定期的な保護者会(クラス会を含む。)で職員も参加し要望や意見等を聴聞して改善に反映させている。 		
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を利保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード配布・アンケートは行っていないが、意見箱を申し出やすい場所に設置するなど工夫している。 ・申出者が特定されないため、保護者へのフィードバックはホームページのみ公開している。 		

35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
・会議室を使用して意見が述べやすい環境を設定している。		
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の福祉サービスの提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	
【判断した理由・特記事項等】		
・日々の相談には職員が丁寧に対応して処理し、解決できないものは期限を定めて職員会等で話し合っ報告している。 ・意見箱により意見を聞き、質向上につながるものは取り入れている。		

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・リスク班を設置し、危険予知・事例・事故への対応・再発防止を職員会議で取り上げている。		
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	
	<input type="checkbox"/> (保育所) 保護者への情報提供が適切になされている。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・担当者の未選任、勉強会が少なくマニュアルの見直しが行われていない。		

39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震・不審者への対処、連絡表で体制を整えている。 ・影響を把握し継続するための対策が講じられていない。 ・避難先・引き渡し場所・方法等の周知は、「入園のしおり」に明文化して職員に周知への周知を図っている。 ・食料は備蓄しているが、リストの未作成、管理者が定められていない。 ・南さつま市発行の地域防災計画は活用しているが、地域全体の訓練が日曜日に行われるため参加していない。 		

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果
40	① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> (保育所) 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法は保育課程で明文化している。 		

41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>・実施方法については、クラスミーティング等で検討をおこなっている。</p>		
(2) 適切なアセスメントにより指導計画が策定されている。		自己評価結果
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 指導計画策定の責任者を設置している。	
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> (保育所) 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> (保育所) 子どもと保護者の具体的なニーズが等が、個別の指導計画に明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> (保育所) 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>・障害児等へは配慮した保育を心掛けている。</p>		

43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分でない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。 <input type="checkbox"/> (保育所) 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・特になし。		
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果
44	① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 個別の指導計画にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・特になし。		
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】 ・特になし。		